

# 野村 渉(のむら わたる)O型 1995/2/1生 みずがめ座

これから私の自己紹介をしたいと思います。本当は書きたくないことありますが、ありのままにお伝えします。治療をする上で最も大切な信頼関係を築いていきたいからです。

ぼくは小学校2年生から兄にくっついて野球をやるようになって  
専門学校卒業までの14年間野球をしていました。

小、中学校と楽しくやっていたのですが  
高校の3年間はすごくハードで  
ケガをたくさんしました。  
高校3年間で3回も疲労骨折をし、  
肩も痛めてとてもケガに苦しめられました。

ケガをすれば当然監督に報告にいかねばいけません。  
「すみません。足の指を疲労骨折しました。」  
なんと監督の返事は  
「疲労骨折は骨折じゃない!」  
ぼくは元気よく  
「はい!!」と返事をして練習に参加しました。  
注)疲労骨折は骨折です。(笑)  
なにぞ知識がないぼくはそれを鵜呑みにしました。

練習は週7であったのですが  
当然まともには休まず、練習も大会もそのまま出ました。  
まともにはプレーできないわけもなくミスの連続。  
そうすればメンタル的にも落ち込みます。

どうにかしようと自分でケガを治そうにも  
方法がまったくわかりません。  
とりあえず湿布とテーピングをグルグルに巻いて応急処置を  
していましたが、気休めにもなりません。  
そしてかばって練習して、またケガ、、、  
心身ともにボロボロでした。

そんなとき知り合いの紹介で地元の鍼灸接骨院に  
行くことになりました。肩の痛みには鍼が効くという風には聞いていたのですが、  
「鍼なんて危ないものさせてたまるか!」  
って思っていました(笑)  
先生の薦めでチャレンジしてみたのですが  
これが意外にも痛くなくて、  
しかも痛みがすごく楽になりました。  
まさに目から鱗でした。  
足に関しては休むのが一番と言われたのですが  
やはり休むことはできなかったのでやり続けていましたが  
治療院にいった先生とお話するだけでも  
メンタル的にも楽になったような気がしました。

引退してから進路を決めるときに  
自分と同じように辛い思いをする人を  
少しでも減らしてあげたいと思うようになって  
柔道整復師と鍼灸師の道に進むことに決めました。

なので、  
本当にこの辛いのは治るのか。  
ケガをして試合に出られるか不安。  
競技に復帰して以前と同じように100%プレーができるか心配。  
という人たちの気持ちは痛いほど理解できます。

自分でできる体のケアやリハビリはもちろん、  
不安な気持ちを少しでも和らげてあげるのも大事なことの  
1つだと思うので、  
心のケアもお手伝いしていきます!  
不安なことやわからないことがあれば、  
ぼくに何でも聞いてください!  
寄り添ってサポートしていきます!

痛みの先の幸せをゲットして、  
一緒に笑顔になりましょう!(^^)

